

半田運河周辺の防犯対策

課題 問題

半田運河周辺は観光客が多く、犯罪者が紛れ込んでいる可能性も高い。源兵衛橋以南はミツカンの施設に多くの防犯カメラが設置されているが、源兵衛橋から新橋までの運河沿い及び半六庭園の防犯対策は脆弱です。犯罪防止と周辺住民保護のため、このエリアに市で防犯カメラの設置を望みます。

対策等 担当課：観光課

一般的に犯罪の多くは夜間に発生するものと考えますが、イベントを除き半田運河周辺を含む市内の観光エリアにおいては、夜間の観光客はほとんどいないのが現状であります。このため、観光客に紛れた犯罪者を対象に防犯カメラを市内の観光エリアに設置する予定はありません。

一方で、半田運河北エリアには、市が設置する「半六庭園」があり、園内には市所有の土蔵や、(特非)半六コラボが所有する「旧中埜半六邸」があります。これらの建築物は文化財的価値が高いものの、木造であるため火災に対して脆弱であります。このため、建築物の防火対策の一環として、同庭園に防犯カメラを設置する予定です。

なお、市や観光協会が実施する半田運河周辺でのイベントにおいては、現地スタッフの見回り等により対応します。



複雑化した交差点の安全対策

課題 問題

神戸公民館の東側は、名鉄が高架になったおかげで大変便利になりましたが、複雑な交差点になったため、通学路を歩いている子どもたちが心配です。さらに令和5年4月には花園保育園が移転になるため、朝夕の交通量が増えると予測されます。警察と協力のうえ、より良い交差点になることを望みます。

対策等 担当課： 防災交通課/土木課

産官学で構成する愛知県主催の交通安全対策事業の一環として、市と関係機関による現地調査を経て、令和4年度から対策に着手します。同事業は、県を始め、市、警察、大手自動車メーカー、大学などが参画し、ETCやカーナビから収集される大量の交通関連情報を解析し、危険個所の解消に役立てるといった先進的な試みです。

